

平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月29日

上場会社名 日本マクドナルドホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2702 URL http://www.mcd-holdings.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO) (氏名)サラ・エル・カサノバ  
 問合せ先責任者 (役職名)財務本部執行役員 (氏名)今村 朗 (TEL)03-6911-6000  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日~平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	121,000	△6.7	3,512	△50.3	3,233	△56.7	1,852	△59.4
25年12月期第2四半期	129,703	△11.4	7,062	△40.6	7,459	△39.3	4,566	△34.9

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 1,855百万円(△59.4%) 25年12月期第2四半期 4,571百万円(64.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	13.93	—
25年12月期第2四半期	34.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	211,841	169,761	80.1
25年12月期	213,226	171,895	80.5

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 169,584百万円 25年12月期 171,720百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日~平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成26年は当社にとって大変厳しい事業環境が続いております。加えて、先般の上海福喜食品有限公司製チキンをめぐる問題の影響で売上高の減少が予想されること、お客様の当社の商品に対する信頼を回復するための投資を最優先で行っていくことによる費用の増加等により、期初に設定した連結業績予想の達成に多大な影響が生じています。本日現在、当問題のビジネスへの影響を合理的に見積ることができないため、平成26年12月期の連結業績予想を未定としております。当社は、業績回復のための戦略に自信を持って取り組んでおり、開示が可能となった時点で速やかに、新しい連結業績予想をお知らせいたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年12月期 2 Q	132,960,000株	25年12月期	132,960,000株
② 期末自己株式数	849株	25年12月期	829株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	132,959,161株	25年12月期 2 Q	132,959,274株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は、概ね終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

**(事業戦略に関する定性的情報)**

当第2四半期連結累計期間は、「すべてを、お客様のために」という理念のもと、QSC（信頼の品質、スピーディーで心地よいサービス、清潔で快適な環境）を基盤として、「マクドナルドの独自性の強化」、「変化するお客様の需要への対応」、「店舗環境の刷新」の3つの分野に経営資源を集中的に投入し、持続的な成長のための事業戦略を推進しました。

**商品戦略**

第1四半期は、お客様に「古き良き時代のアメリカ」を感じ、楽しんでいただくことをコンセプトに「アメリカンヴィンテージ」キャンペーンを展開しました。当第2四半期以降は、「カラフルゴールデンウィーク」キャンペーンとして「アボガドビーフ」「アボガドチキン」「アボガドエビ」販売、また、当社初となるとんかつを使用した「とんかつマックバーガー」、2014 FIFAワールドカップブラジル大会の開催を記念した「FIFA World Cup™ 公式ハンバーガー」「ブラジルバーガー」「ドイツバーガー」などを販売し、多くのお客様にご好評を頂きました。

**店舗開発戦略**

収益性の高い郊外型の大型ドライブスルー店舗を中心とした新規出店や、既存店のリモデル、リロケーションを進める一方、戦略的閉店を適切なスピードで実施し、店舗ポートフォリオの最適化を推進いたしました。これらの活動の結果、店舗数は以下の通り推移いたしました。

区分	前連結会計年度末	新規出店	閉店	区分移行		当第2四半期連結会計期間末
				増加	減少	
直営店舗数	1,013店	10店	△20店	14店	△2店	1,015店
フランチャイズ店舗数	2,151店	6店	△21店	2店	△14店	2,124店
合計店舗数	3,164店	16店	△41店	16店	△16店	3,139店

**ブランドエクステンション**

中食へのシフト等、変化するお客様の需要に対応するため、マックデリバリーサービスを積極的に展開した結果、実施店舗は、当第2四半期末で160店舗となり、全国展開に向け順調に店舗数を拡大しております。また、専任バリスタによる本格派カフェコーヒーを提供するコーナー、マックカフェ バイ バリスタを併設した店舗は当第2四半期末で94店舗となりました。

**(経営成績に関する定性的情報)**

当第2四半期連結累計期間は、2月の記録的な大雪や戦略的閉店、一部のプロモーションが計画に未達だった影響等により、システムワイドセールスは2,377億78百万円（前年同期比3.9%減少）、売上高は1,210億円（前年同期比87億03百万円減少）となりました。既存店売上高対前年同期比につきましても、3.5%の減少となりました。

また、マーケティング投資の戦略的な配分や店舗ポートフォリオ最適化のための投資、期首に計画した投資を着実に実施した結果、経常利益は32億33百万円（前年同期比42億26百万円減少）、四半期純利益は18億52百万円（前年同期比27億14百万円減少）となりました。

(注) システムワイドセールスとは、直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高であり、四半期連結損益計算書に記載されている売上高とは一致しません。

(注) 既存店売上高とは、少なくとも13ヶ月以上開店している店舗の売上高です。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は749億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億31百万円の減少となりました。これは、配当金及びロイヤルティーの支払いが主な要因です。

固定資産は1,368億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億47百万円の増加となりました。新規出店やリモデル、リロケーション等による設備投資等で、有形固定資産が28億41百万円増加した一方、ソフトウェアの償却が進んだことなどにより無形固定資産が4億29百万円減少、また敷金及び保証金の回収等により、投資その他の資産が1億64百万円減少したためです。

流動負債は293億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億46百万円の増加となりました。これは未払法人税等が増加したことが主な要因です。

固定負債は126億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億97百万円の減少となりました。これは賞与引当金が減少したことが主な要因です。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて27億93百万円増加し、629億32百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は133億66百万円(前年同期比106億10百万円増加)となりました。この主な収入要因は、減価償却費が49億60百万円、法人税等の還付額が34億89百万円です。主な支出要因は、引当金の減少額7億37百万円、未払金の支払による減少5億81百万円です。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は58億83百万円(前年同期比7億15百万円減少)となりました。この主な支出要因は、新店開発による有形固定資産の取得による支出59億98百万円です。主な収入要因は、敷金及び保証金の回収による収入14億85百万円です。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は46億86百万円(前年同期比1億42百万円増加)となりました。この主な支出要因は、配当金の支払額39億71百万円及びファイナンス・リース債務の返済による支出7億15百万円です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年は当社にとって大変厳しい事業環境が続いております。加えて、先般の上海福喜食品有限公司製チキンをめぐる問題の影響で売上高の減少が予想されること、お客様の当社の商品に対する信頼を回復するための投資を最優先で行っていくことによる費用の増加等により、期初に設定した連結業績予想の達成に多大な影響が生じています。本日現在、当問題のビジネスへの影響を合理的に見積ることができないため、平成26年12月期の連結業績予想を未定としております。当社は、業績回復のための戦略に自信を持って取り組んでおり、開示が可能となった時点で速やかに、新しい連結業績予想をお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,041	61,932
売掛金	8,488	6,129
有価証券	15,098	1,000
原材料及び貯蔵品	1,203	1,016
繰延税金資産	797	1,011
未収還付法人税等	3,830	-
その他	4,259	3,997
貸倒引当金	△110	△110
流動資産合計	78,608	74,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,923	45,658
機械及び装置(純額)	5,556	5,166
工具、器具及び備品(純額)	3,924	3,827
土地	17,069	17,222
リース資産(純額)	4,199	4,748
建設仮勘定	959	1,851
有形固定資産合計	75,633	78,475
無形固定資産		
のれん	376	599
ソフトウェア	2,579	1,926
その他	755	755
無形固定資産合計	3,711	3,281
投資その他の資産		
投資有価証券	56	56
長期貸付金	9	9
繰延税金資産	1,910	2,024
敷金及び保証金	46,368	45,625
その他	7,246	7,710
貸倒引当金	△318	△318
投資その他の資産合計	55,271	55,107
固定資産合計	134,617	136,864
資産合計	213,226	211,841

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	638	71
リース債務	1,239	1,508
未払金	17,025	16,534
未払費用	5,020	4,488
未払法人税等	131	1,407
賞与引当金	-	336
店舗閉鎖損失引当金	159	116
災害損失引当金	23	23
その他	4,107	4,904
流動負債合計	28,344	29,390
固定負債		
長期借入金	500	500
リース債務	3,363	3,675
再評価に係る繰延税金負債	413	413
賞与引当金	1,517	768
役員賞与引当金	405	137
退職給付引当金	1,805	1,776
役員退職慰労引当金	237	251
資産除去債務	4,439	4,856
その他	303	309
固定負債合計	12,986	12,689
負債合計	41,331	42,079
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,113	24,113
資本剰余金	42,124	42,124
利益剰余金	110,110	107,974
自己株式	△1	△1
株主資本合計	176,347	174,210
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△4,626	△4,626
その他の包括利益累計額合計	△4,626	△4,626
少数株主持分	174	177
純資産合計	171,895	169,761
負債純資産合計	213,226	211,841

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	129,703	121,000
売上原価	109,303	104,753
売上総利益	20,400	16,246
販売費及び一般管理費	13,337	12,734
営業利益	7,062	3,512
営業外収益		
受取利息	133	78
未回収商品券収入	56	-
受取補償金	242	87
受取保険料	44	31
貸倒引当金戻入額	3	-
その他	283	119
営業外収益合計	763	317
営業外費用		
支払利息	50	48
貸倒引当金繰入額	-	0
店舗用固定資産除却損	171	470
その他	144	76
営業外費用合計	366	595
経常利益	7,459	3,233
特別利益		
固定資産売却益	74	-
特別利益合計	74	-
特別損失		
固定資産除却損	85	23
固定資産売却損	3	-
特別損失合計	88	23
税金等調整前四半期純利益	7,445	3,210
法人税等	2,874	1,355
少数株主損益調整前四半期純利益	4,571	1,855
少数株主利益	4	2
四半期純利益	4,566	1,852

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,571	1,855
四半期包括利益	4,571	1,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,566	1,852
少数株主に係る四半期包括利益	4	2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,445	3,210
減価償却費	5,459	4,960
引当金の増減額(△は減少)	104	△737
未回収商品券収入	△56	-
受取利息	△133	△78
支払利息	50	48
固定資産売却損益(△は益)	△71	-
固定資産除却損	257	320
売上債権の増減額(△は増加)	1,706	2,359
たな卸資産の増減額(△は増加)	△137	186
フランチャイズ店舗の買取に係るのれんの増減額(△は増加)	155	△344
その他の資産の増減額(△は増加)	17	233
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,880	△566
未払金の増減額(△は減少)	△2,541	△581
未払費用の増減額(△は減少)	△844	△532
その他の負債の増減額(△は減少)	293	1,305
その他	△6	137
小計	4,818	9,921
利息の受取額	68	26
利息の支払額	△46	△29
法人税等の支払額	△4,653	△41
法人税等の還付額	2,569	3,489
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,756	13,366
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,457	△5,998
有形固定資産の売却による収入	888	104
敷金及び保証金の差入による支出	△711	△750
敷金及び保証金の回収による収入	2,025	1,485
ソフトウェアの取得による支出	△325	△185
資産除去債務の履行による支出	-	△143
差入保証金の差入による支出	-	△400
その他	△16	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,598	△5,883
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△578	△715
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△3,965	△3,971
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,544	△4,686
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,365	2,793
現金及び現金同等物の期首残高	72,148	60,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	63,783	62,932

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。